平成28年度春日井市地域包括ケア団地モデル事業報告

1 モデル事業の推進体制

- (1) 推進連絡会議の開催
 - 9月 モデル事業の概要説明 地域課題のワーキンググループを実施
 - 12月 実施予定事業の素案説明
 - 3月 実施予定事業の現状と今後の予定の報告
- (2) 部会の開催

「居場所づくり」、「多世代交流」、「介護予防・日常生活支援」 10~11月 モデル事業の取組みの検討

(3) 生活支援コーディネーターの参画、事業推進員の配置(地域包括支援センター: 春緑苑)

2 実施予定事業

事業区分	事業内容
7 710. 77	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(1) 居場所づくりと	ア 空き家や既存の拠点施設等を活用し、居場所づくりの
地域活動の活性	環境を整備し、住民主体サービスや地域活動の活性化を
化	図る。
	○ 地域活動に必要な備品の購入等
	○ 活動拠点の施設整備(バリアフリー化、エアコン等)
	○ 空き家利用のための調整
	イ URと連携したサロン活動などの居場所を確保する。
	○ UR団地の集会所の無償利用に関する覚書の締結
(2) 多世代や地域に	ア 多世代の支え合い等の住民啓発を行う。
おける支え合い	○ 中部大のCU+の学生による地域イベントのボランティア参
等の普及啓発	加、多世代交流
	○ 中部大の保健師学生による地域ニーズ調査、実地研修
	イ 地域住民参加型防災訓練により、災害時の協力体制の
	構築を図る。
	○ 障がい者施設の防災訓練への地域住民参加
	ウ 地域での支え合いと元気な高齢者の社会参加の推進を
	する。
	○ ちょっとお助けサービスの協力者の育成
	○ ゴミ出しに不自由している高齢者世帯の地域住民による

事業区分	事業内容
	支援
	エ 小中学生や高校生に対し、職業体験や福祉等について
	学習する機会等を設け、認知症高齢者や障がい者等に対す
	る理解を深める。
	○ 中学生、高校生の福祉施設での職業体験
	○ 学校における認知症サポーター養成講座の実施
(3) 高齢者と子ども	ア 高齢者の特技を活かして、子どもの家や高齢者サロン
の「縁活」応援	等で高齢者と子どもの交流を行う。
事業	○ 老人クラブなどが子どもたちに講師等を実施
(4) 健康づくり、介	ア 健康づくり教室を開催し、気軽に認知症予防に取り組
護予防の実施	める環境の整備をする。
	○ 身近な公園にコグニサイズができる環境を整備
	○ 介護予防教室や公園、散歩道などの歩こうマップを作成
(5) 相談窓口の設置	ア 高森台・石尾台地区の居場所で地域包括支援センター
	による定期的な相談窓口を実施する。
	○ 居場所などで出張相談を定期的に実施
(6) 外出支援への取	ア ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の外出を支援す
組みの実施	るため意向調査を実施し、支援方法などを検討する。
	○ 近隣とのつながりが比較的薄い「団地」において外出意向
	調査の実施
(7) 「ハートフルパ	ア 訪問診療、訪問介護等の医療・福祉関係者や市職員が
ーキング」登録	訪宅する際の駐車場を確保する。
制度	○ 公共施設、UR、店舗、個人宅等の駐車場を有効活用す
	るため、協力者の募集・利用手続の検討
(8) 地域の見守り活	ア 認知症高齢者の行方不明者の捜索などの訓練をICT
動の推進	(スマートフォンのアプリ機能)を活用して実施し、地
	域の見守り活動を推進する。
	○ 認知症高齢者の徘徊捜索模擬訓練を実施し、地域の見
	守り活動を推進